

主なご意見等と区の考え方、対応（令和7年度 第1回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

意見交換のテーマ（区として特にご意見やアドバイスをいただきたいこと）

防災の次世代を担うジュニア災害リーダー（JDL）育成や、女性目線での避難所運営のための取組を行うにあたり女性が積極的に参加いただくにはどのような方法が有効か

ご意見・アドバイス等		委員名
ジュニア災害 リーダー育成	私たちの地域でジュニア災害リーダーというのは聞いたことがない。中高生は受験で頭がいっぱいなので、ジュニア災害リーダーが果たして身になるのかは疑問に思う。	長谷川委員
	ジュニア災害リーダーの育成は進めてるべきだが、専門の方が彼らに防災などの説明をしないと難しい。防災センター等の方に依頼し、防災や安全について講習を行っていただくのが良い。 政府が30年以内に80%の確率で南海トラフ地震が起きるような説明をしているが、この10年以内に起きると思うので、ジュニア災害リーダーは訓練に重点を絞り、これからの防災を担っていく人に対してどんどん育成を進めるべきと思う。	玉井委員
	各中学校へ防災の出前授業をやってもらい、その中でリーダーになる人材を3、4名程度各中学校に担ってもらう形なら非常に役目もしっかりし活躍できると思うが、数名の中学生に対して取り組んだとしても、結局、その方たちだけの話になる。それならば各中学校に防災の出前授業を年数回行い、中学生・高校生に防災の仕組み、また地域はどのように防災に対応しているかなど、実践的な事とかを行っただけで、ジュニア災害リーダーを育成していくのが手順としてはいいのではないか。	森口委員
	自身の町会では校区がバラバラで、生野未来学園か田島南小中一貫校に通うのが可能。町会からも、そういった子どもたちに声をかけるが、「今生野未来学園の方に通っているから関係ない」と言われることが多く、地域での催し物にも来ないため子どもの数が全然足りず、その中からジュニア災害リーダーを探せというのは難しいと思う。	衣川委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和7年度 第1回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

ご意見・アドバイス等		委員名
女性目線での避難所運営のための取り組み	やはりPTAの方の活動が1番動きが早いので、PTAの方に担っていただけるかどうかを当たってみることが必要ではないか。	玉井委員
	先日全連合の女性部長とあじさい防災パートナーたちが集まり避難所運営について様々な話をし、他の地域の良いところも学べ、自分の地域が遅れているなど反省点も感じた。しかし連合の女性部長はみんな高齢化しているため、現場のPTAのお母さんたちが、自分の子どもたちをジュニア災害リーダーに参加させてもらい、若い人たちの意見をどんどん吸い上げて、もっと避難所で活躍できるようになれば良い。 災害対応は、今までは男性中心だが、避難所を運営するには女性の力が必要であると私自身も自負している。これからも女性の意見を聞いていただき活躍できる場が必要と思う。	西野委員
	避難所運営の役割は、給食や救助がメインになるが、乳幼児のミルク、オムツ、生理用品・トイレ等の物資がないというのは必ず言われ、物資がないということは、避難所として機能できるのかどうか問題。 避難所運営は、女性の方がメインなので、物資も充実させながら、どのように活躍していただけるか、運営していただけるかを考えないと、人数だけは増えたとしても実際の災害が起きたときにどのように対応してもらえるかは疑問に感じながら災害想定訓練をしている。女性の参画も募りながら物資の充実も図っていただきたい。	森口委員
	昼間に区内にいる人たちはたくさんいると思うが、実際に災害が起きた時に、区内在住の人は区外に行き、区外在住の人が区内にいるときは、どのように対応していくのか一番疑問に思う。もう一つ、その状況の中でも起こる災害の種類によって、動き方も変わってくるので、色々な人に伝えるためにはどうしたらいいかを考えていた。私の中では一つのイメージは、今日このように話をしてるだけで、何らかの形でその災害について考える・話をする場がたくさんあるだけで、準備が少しずつでも揃うのではと思う。	中村(一)委員
	避難所での活動は、やはりPTAの女性の方を中心にやっていくしかないと思うので、PTAの役員になられた方は自動的に防災リーダーになっていただくとか、各研修・講習会などには積極的に参加していただいて、実際に避難所を開設した時は活動をするという意識を持っていただくのが必要ではないかと思う。	田村委員

主なご意見等と区の考え方、対応（令和7年度 第1回生野区区政会議 くらしの安全・安心部会）

その他の主なご意見・ご質問等		委員名	区の考え方、対応	担当課
福祉コーディネーター	相談受付件数の減少原因の要因はどのように考えるか。	川中委員	詳細の原因は把握できていないが、可能性として大きいのは福祉コーディネーターのスタッフに欠員がでているのが原因と思っている。	保健福祉課
外国人住民との共生社会実現に向けた調査	調査内容・結果の概要を説明していただいたが、調査の全文公開は今後どうされていくのか。	川中委員	非常にボリュームのある報告書となっているので、全文になるかまとめたものになるかは検討中ですが、内容については可能な限り早いうちに公開していきたいと考えている。	企画総務課
	調査の中で、差別を受けたという経験が多いとのことだが、同時に地域の人たちともっと交流していきたいという意向もある。そういった交流をどのように深めていくのか。	川中委員	単年度で全ての施策・事業を実施できないため、まずは調査結果の内容を精査し、行政として取り組むことができるものについて優先順位をつけながら、解決手法も含めて検討していく。	
防災対策	避難・防災の面で、知的障がい者の方など、いわゆる弱者の方が避難をどうされるのか。弱者の方たちの把握は地域で行うのか、もしくは行政の方から民生委員や各町会長に情報を与えてもらえるのか。	森口委員	避難にあたっては、要支援者の避難計画を作ることとなっています。また、個人に何かあった時は地域の方に知っていただいた方がよいこともありますので、個人情報保護の観点から同意を得られない方については地域に情報を渡せない状況ですが、情報提供しても良いと同意をいただいた場合は情報を地域の方にお渡しします。	地域まちづくり課
古民家対策	古民家が生野区にはものすごく多いのですが、耐震化が全然されてない。我が家も耐震化を全然やっていません。だからそういうPRをして欲しいなと思います。悪質な業者もいますので、行政から言っていただいたら非常に安心です。災害が起こったときに被害が少なくなるよう、耐震化などの対策も非常に大事ではないかなと思います。	長谷川委員	耐震化が進んでないということは非常に課題であると考えており、耐震化を行うにあたり工事の一部ですが補助金を出す制度もあります。その部分について、毎年区の広報紙でも少しは紹介させていただいてるのですが、まだまだ周知不足だと認識しておりますので何か工夫を考えさせていただきます。	地域まちづくり課
その他ご要望等				委員名
交通対策	・生活道路の中に非常に観光客が入ってきています。北鶴橋の会館前通りと学校前通りは非常に人が増えています。できれば警察と相談していただいて、「ここは生活道路です」などの文言が記載された立て看板を作っていただきたい。 ・消防署の前の横断歩道と中川のスーパーの前の横断歩道について。通学路にしている子どもたちが道路を横切っていくところを見たことがあるのですが、子どもたちがわくわくして渡れるような歩道橋にできたら楽しいんじゃないかなと思う。			森口委員